

# 学校だより



令和2年4月27日  
松戸市立和名ヶ谷小学校  
校長 保坂 和志  
5月号 No.2

## 保護者のみなさまへ

### 4/27ホームページにアップしたものです。



校庭や周辺の木々が柔らかな若葉に彩られ、さわやかな緑あふれる5月になり、校舎の裏の林からはウグイスの鳴き声が時折聞こえます。しかし、校舎内から子ども達の声が聞こえず、先生方の姿もまばらです。例年と異なり今年度は何とも言えない気持ちになります。

さて、休校措置が始まり、3週間が経ちました。うがい手洗いの励行、不要不急の外出の自粛、密集・密閉・密接の3密を避けることな

ど、国、県、松戸市の方針を受け感染拡大防止の対策をそれぞれの立場で行っていることと思います。これらの私たちの行動が感染の収束につながることを願っていますが、松戸市の現状は安心できない状況です。5月6日の休校期間まで今後も引き続き感染拡大防止のための行動を一緒に行っていきたいと思ひます。ご協力お願いいたします。

また、この後の学校再開に向けてご心配されていることと思ひます。今後の対応については、学校としても松戸市の判断を受けながら、わかり次第早急にお知らせしていきます。

担任がご家庭に子ども達の様子を電話連絡で確認したところ、子ども達の健康状態にひと安心していますが、子ども達の学習の様子で二極化している状況がわかりました。

しっかりと学習のリズムができている子ども達と、学習に集中できずにゲームなどが中心になってしまっている子ども達の2つに分かれているのです。子どもたちも自分で計画を立て、自分で学習を進めていくことはとても難しいことです。保護者のみなさんのお話や先日お知らせした「eライブラリ」の学習状況を見ても学習している子どもたちとそうでない子どもたちの差は一目瞭然です。

始業式の放送で子ども達に伝えたことは、休校の間に自分で勉強する習慣をこの機会につけてしまうということ自分で自分をコントロールする力をつける ということです。

ご家庭でもお仕事の関係も含め、今まで経験したことの無い状況で、子ども達に日々学習を行わせる大変さはわかります。

なかなか身につかない子どもたちにも日々の学習内容がわかるように本日4/27(月)の週から各学年の毎日の計画を立てました。



今だからこそ、なぜ学習することが必要なのか話し合うことで、「やらされている」から「やる」へ、「やる」から「できた」へ、「できた」から「これはどうしてだろう」

という思考に変えていければと思います。

学習する楽しさとは、自分が興味を持ったことを懸命に取り組んでいると「できた、わかった」という瞬間が訪れます。すると「さらにこれはどうなるだろう、どうすればできるだろうか」と自分で考えられるようになっていきます。

興味を持ったことを学ぶ力とは、別にその下地となる力が必要となります。それは、文章を読み取る力、自分の考えを文章に書く力、計算する力、いわゆる「読み書きそろばん」といわれるものです。

これは、繰り返し行うことで身についていくものです。子ども達にとっては、やらされる学習になりがちですが、学年に応じた力が必要となってくるのです。ここをマスターしておかないと次の段階でつまづいてしまうことが多いのです。けれど、この「読み書きそろばん」といわれる計算ドリル、漢字ドリル、読書、作文などは休校中に行いやすい学習でもあり、学習の習慣を身につけるためには、大切な学習です。

ぜひ、子どもたちと学習の方法をもう一度話し合っただけければと思います。

そのために、学校としても何ができるかを考えながら取り組んでいきたいと思ひます。

今一番大切なことは、健康です。いつ罹患してもおかしくないのがこの新型コロナウイルス感染症の怖いところであると感じています。世界でも感染が拡大し、今まで経験したことがない先行きが見えない状態は、大人も子ども達にも不安が広がっています。そのような時だからこそ、感染が広がる理由、それを防ぐ手立て、感染症と戦っている方の苦勞、そして自分たちがどのようにしたらよいのか、正しい情報で子ども達と一緒に話し合っただけきたいと思ひます。

自分たちが今行うことのひとつとして、子ども達に学習することの大切さ、おもしろさ、楽しさを伝えていければと考えています。ぜひ保護者の皆様にも、ご協力をいただけたらと思ひます。よろしくお願いいたします。

保護者のみなさまも健康に留意し、お過ごしください。安心して生活できる日が来るまで一緒に取り組んでいきましょう。

わながやしやうがっこう  
和名ヶ谷小学校のみなさんへ

3がつから休校になり、みなさんがどのように過ごしているか校長先生はとても心配していました。

先週、担任の先生が電話連絡してみなさんが元気である話を聞き、とても安心しました。

いま にほん おおく がっこう おやすみ  
今、日本の多くの学校がお休みになっているのは、新型コロナウイルス感染症を広げないためです。

かんせんしょう こまった かんせん きづ か すほか ひと  
この感染症の困ったとことは、感染に気づかず他の人にうつしてしまうことです。感染した人の中には  
いのち ばあい かんせん  
命にかかわる場合もあるのです。自分が感染しないため、そして自分のまわりの人に感染させないため

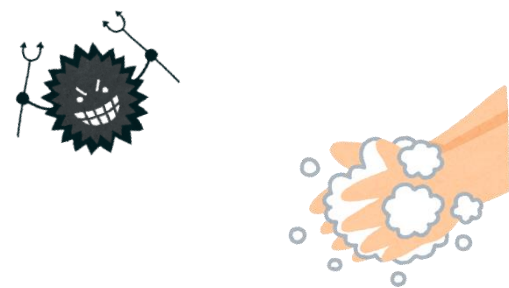
いま じぶん おとな こども ちから あわせてがんばって  
に、今、自分ができることを大人も子どもも力を合わせて頑張っているのです。

たいせつ じぶん けんこう いのち まもるこうどう こころがける  
大切なことは、自分の健康や命を守る行動を心がけることです。

かんがえ いちどはな  
そのためにしっかり考えてほしいことを3つ、もう一度話します。

おうち ひと はなしあって  
お家の人もよく話し合ってくださいね。

## 1 健康



てあらい か か さ すおこなう  
• うがい手洗いを欠かさず行うこと

ひつよう がいしゅつ  
• 必要のない外出はしないこと

（どうしても外出する時はマスクをつけること、子ども同士でも感染の危険性はあるの  
です。）

はやね はやおき しょくじ じかん がくしゅう じかん きめきそくただしせいいかつ  
• 早寝、早起き、食事の時間、学習の時間をきちんと決め規則正しい生活をするこ

てきと うんどう ひつよう  
• 適度な運動も必要です。 どのように行つか、お家の人とよく相談をしましょう

## 2 学習

しぎょうしき はなした おぼえて  
始業式で話したことを覚えていますか？「ピンチはチャンス」の話です。

この時に身につけることができる力は、【学習習慣を自分で身につける】ということです。自分で自  
分の行動をコントロールできる力です。

3しゅうかんたち げーむ  
3週間経ち、どのようにできていますか？ ゲームばかりでなく、きちんと学習にも取り組んでいます  
か？

せんせい かだい ぷりんと  
• 先生からだされた課題やプリント

e ライブラリ、 eboard、 NHK for school インターネットを使った学習

じゅうけんきゅう  
• 自由研究

じぶん すき きょうみ ぎもん おもった じぶん かんがえたほうほう しらべて  
（自分の好きなこと興味のあること疑問に思ったことを自分で考えた方法で調べてみるのです。）

どくしょ  
• 読書

おこなえる  
行えることはたくさんあります。

がくしゅう しゅうかん ひと がっこう はじまったときこまらない  
学習する習慣がついていない人は、学校が始まった時困らないようにしましょう。

まいにちおこなうがくしゅう ないよう たんにん せんせい かんがえて  
そのために毎日行う学習の内容を担当の先生たちに考えてもらいました。ホームページの各学年の  
ページに毎週お知らせしていきます。 がんばりましょう！



がくしゅう しゅうかん ひと じぶん かだい  
学習の習慣がきちんとついた人は、そのまま自分の課題に

とりくみましよう  
取り組みましよう。

## 3 そして、新1年生のみなさん

いゅうがくしき おこなう たのしみ がっこうせいかつ  
入学式も行うことができず、楽しみにしていた学校生活もわからないまま お家で過ごしていることと  
おもいます。

みなさんに会うことができず、校長先生もとても残念でなりません。

いちばんたいせつ けんこう  
一番大切なことは、みなさんの健康のことです。

コロナうつることなく、お家の人の言うことをしっかり聞きましよう。

がっこう NHKで「学校のことを調べてみよう。」や「めざせひらがなマスター」などを見ながら

少しずつ勉強もしてください。お家の人と一緒に見てくださいね

がんばったことを話してくれるのを担任の先生も楽しみにしています。

せんせいがた かんせん かくだい がいしゅつ ほか ひと せつしよく さけながらしんがっき  
先生方も感染を拡大させないために、外出や他の人との接触を避けながら新学期

がくしゅう じゅんび  
の学習の準備をしています。

がっこう さいかい とき げんき あえる たいのしみ  
学校が再開した時に元気いっぱいみなさんとまた会えることを楽しみにしています。

それまで、自分のできることをがんばりましよう。



令和2年4月27日

和名ヶ谷小学校

校長 保坂 和志